

キャラクター名
瑠璃光寺 望美(るりこうじ のぞみ)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ	ワークス	UGN支部長D	カヴァー	高校生
	ブラックドッグ				
オプション		年齢	16	性別	女
覚醒	死	衝動	妄想	初期侵食率	32 %
出自	権力者の血統	経験	約束	邂逅	同行者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	4	0	0			4	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	0	1	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉	1	
回避			知覚			意志	1	1	調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
放電(ディスチャージ)		0				《アームズリンク》+《コンセントレイト:ブラックドッグ》
電離圏(イオノスフィア)		0				《磁力結界》

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
書き込み用ディスク	
制服、私服、携帯電話	
ミネラルウォーター	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
屍人(リヴィングデッド)	P	N		
子供の頃の約束	P 憧憬	N 偏愛		
学校生活	P 友情	N 脅威		
Z市	P 連帯感	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ブラックドッグ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: 組み合わせた判定のC値-Lv(下限7)								
アームズリンク	5	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 組み合わせた判定のダイス+Lv個								
加速装置	1	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果: そのラウンドの間、行動値+Lv×4								
バリアクラッカー	1	4	メジャー	武器	-	対決	80%	
効果: ガード不可、装甲値無視。1シナリオLv回								
サードウォッチ	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: シーンに登場せずに情報を入手する、登場判定は必要								
磁力結界	5	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ガード値を+LvDする								
ヒーリングウィルス	10	1	クリンナップ	至近	範囲(選択)	自動	-	
効果: HPをLv点回復、戦闘以外だとシーン1回								
アンテナモジュール	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 常に通信可能								
電子使い	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 機器なしで電磁記録媒体を扱うことが可能								
ショート	★	-	メジャー	視界	効果参照	自動	-	
効果: 過電流を流し電子機器を破壊可能								
人間発電機	★	-	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果: 電子機器に電力を供給可能								
タッピング&オンエア	★	1	メジャー	視界	効果参照	自動	-	
効果: 電波傍受、電波送信が可能								
効果:								

[info]
 全身の細胞に発電能力を有するオーヴァード。外付けデバイスを用いることで能力を増幅し、臨機応変に戦う。半通信制の高校に通っており、週の半分は通学しているが、残り半分はオーヴァードとしての活動に専念している。暇な時間にスマートフォンでレポートを書き上げることが多く、口数は少なめ。口癖と呼べるかは微妙だが、誰かに問い掛けをすることが多い。若くしてZ市の支部長を務めているが、仕事への意欲はあまり高くはない。基本的には勤続年数の長い部下に任せきり。

[plot]
 瑠璃光寺という名のありきたりな名家に生まれ、後継ぎとして当たり前のように育てられてきた。人生が変わる切っ掛けなんて、いつだって突然のことだ。小学生の頃、学校で仲の良かった男の子に告白されたこと。けれどすぐには答えが返せずに、明日にはキチンと答えると約束したこと。——そして、その約束が守れなかったこと。

目が覚めると、幾年もの年月が過ぎていた。漠然と覚えているものは、歪む視界と何かの叫び声。「つまりは簡単に呆気のない答え——私はあの時、死んだんだ」

そして、死んだ私は今もこうして生きている。戸籍も名前も記憶も消されて、それでも私は生きている。…人ならざる、怪物として。